

**渡辺華山** 画家、蘭学者。西洋の先進性に開眼し、幕府の鎖国政策を批判、<蛮社の獄>で自殺を余儀なくされた。

わたなべかざん

**松平定信引退** 1793 = 三河国渥美郡田原藩の定府の家臣渡辺定通の長男に生まれる。

田原藩は1万2000石の小藩のうえ、父が病身のため極貧のうちに育った。

一九**藤栗毛始** 1802 = **9歳** :

**ザノ来航**・1804 = 11歳 : 藩主の行列の先頭と衝突、武士たちから打ちのめされ、封建社会でのみじめさを味わう。

家計を助けるために画業を志し、

浮世風呂・・1809 = 16歳 : 谷文晁の門人、白川芝山、金子金陵らに学び、文晁に画才を認められた。

**ゴロウニ拿捕** 1811 = **18歳** : 佐藤一斎に入門して、儒学を学ぶ。

**水野忠成老中** 1818 = 25歳 : 同志と学問振興を柱とする藩政改革の構想を上申したが、却下される。「一掃百態」成る。それをもとに、**群書類従完結** 1819 = 26歳 : 藩主が和田倉門番所詰を命ぜられたため、番士を勤める。\*日本橋百川楼で書画会を開き、画名が高まる。

・・・・・1820 = **27歳** :

伊能図完成・1821 = 28歳 : 「佐藤一斎像」成る。

**シノト来日**・1823 = 30歳 : 田原藩士和田伝の女たかと結婚。自省の覚書「心の掟」。

**シノト鳴滝塾** 1824 = 31歳 : 家督を相続。この頃から洋画の研究を始める。

異国船打払令 1825 = 32歳 : 「四州真景図巻」成る。

この間、藩主の番頭控、擁立を図って失敗したため隠居した藩主の異母弟三宅友信の側用人、中小姓支配などを勤める。また、洋画への傾倒は蘭学を学ぶ素地をつくった。

**シノト追放**・1829 = **36歳** :

富籤流行・・1830 = 37歳 : 「全楽堂日録」始まる。

富籤三十六景 1831 = 38歳 : 相州厚木に旅し「澆相日記」を、上毛地方に遊び「毛武渡記」を草す。「訪琵琶」を著わす。

鼠小僧磔・・1832 = 39歳 : \*江戸詰家老にあげられ、海岸掛を兼務して以来、本格的に蘭学研究を始める。

家老としても藩の問題の解決に尽力し、成果を上げ、

高野長英、小関三英らの蘭学者に蘭書の翻訳を依頼し、{尚齒会}を結成して西洋事情を研究。そのころようやく海防が問題化した時期であったため、彼の学識を慕って集まる知識人が少なくなく、

**大塩平八郎乱** 1837 = 44歳 : 「鷹見泉石画像」(国宝)「市河米庵画像」成る。

適塾オープン・1838 = **45歳** : \*「鯨舌或問」「験舌小記」「慎機論」を著し、

蛮社の獄・・1839 = 46歳 : 「諸国建地草図」「外国事情書」等を著した。これらが幕府の文教をつかさどる林家の忌諱に触れ、林家出身の目付鳥居耀蔵が華山と同志を陥れるために蛮社の獄を起こした。そのため華山は在所蟄居を命ぜられ、

天保改革始・1841 = 48歳 : \*「千山万水図」「虫魚帖」等を成した後、在所田原で自殺した。